

関係機関の長 殿

独立行政法人国立高等専門学校機構
奈良工業高等専門学校長
後 藤 景 子 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

貴機関におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび本校では下記のとおり一般教科(数学)の教員を公募することになりました。
つきましては、貴機関関係者への周知方並びに適任者のご推薦について、よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 職名・人員 准教授，講師または助教 1名
2. 所属学科 一般教科(数学)
3. 担当科目 数学，及び数学関連科目
4. 応募資格 (1) 本校の教育方針に賛同される方で，本校在籍の教員及び非常勤講師と協力して学生教育を進められる方。
(2) 心身ともに健康で，本校の数学教員の業務に積極的に取り組める方。
(3) 博士の学位を有する方。(着任時までに取得見込みの方を含む。)
(4) 過去5年以内に1編以上の著書・査読付き論文等を有する方。
(5) 学内の会議や事務手続き等に十分な日本語運用能力を備えていること。
(6) 高等学校教諭の免許を有する方が望ましい。
5. 採用予定日 平成29年4月1日
6. 提出書類 以下(1)，(2)，及び(3)の「概要」については，本校ホームページ>「採用情報」からダウンロードできる様式を使用し，A4片面印刷で提出して下さい。
(1) 履歴書：氏名・現住所(連絡先)は，自筆で記入。
(2) 研究業績一覧
(3) 主要著書・論文等の別刷(3編以内，写し可(A4片面印刷))及び各々の概要
(4) 最終学歴または最終の学位の証明となるもの。または学位記の写し(A4片面印刷)
(5) 教育歴一覧：
機関名・授業科目・週当りの時間数・期間を記入し，シラバスや授業アンケート結果があれば添付(A4片面印刷)，書式は任意。
以下，(6)から(8)は，いずれもA4片面印刷1枚，書式は任意。
(6) 高等専門学校における教育と学生指導に対する抱負
(7) 着任後の研究計画：数学を専門としない教員も選考に加わりますので他分野の者にもできるだけわかるように書いて下さい。(図版，写真の挿入も可。また，カラー版も可。)
(8) 照会可能な方2名の氏名及び所属機関・電子メールを含む連絡先
(9) 推薦者がいる場合は推薦書
※(1)，(2)，(3)，(5)，(6)，(7)の書類は固有名詞を除き日本語で記載して下さい。
※提出頂いた書類はお返しませんが，返却を希望される場合は，宛名，送付先を明記した宅配便の着払用伝票を同封して下さい。
※後日，着任手続きのために，電子ファイル形式で書類提出のお願いをすることがあります。

7. 応募締切 平成 28 年 11 月 8 日（火）必着
8. 選考方法 第 1 次選考：書類審査
第 2 次選考：第 1 次選考合格者を対象に面接及び模擬授業審査
(平成 28 年 12 月 10 日頃を予定)
※面接及び模擬授業審査に伴う旅費、宿泊費等は応募者の負担とします。
※本校では「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績等が同等と認められる場合は女性応募者を優先させていただきます。
9. 問い合わせ先 奈良工業高等専門学校 一般教科主任 安田 智之
Tel:0743-55-6053, FAX:0743-55-6019
E-mail:koubo28m@libe.nara-k.ac.jp
10. 書類提出先 〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町 2 2 番地
奈良工業高等専門学校 総務課人事係 Tel:0743-55-6014
(封筒に「数学担当教員応募書類在中」と朱書きの上、特定記録で郵送願います。)

■奈良高専の教員が携わる授業以外の職務概要

本校には本科（5 年）と専攻科（2 年）があります。高専はその教育目標や学生の年齢層（本科：15～20 歳，専攻科：20～22 歳）の幅広さ等から，大学とも高等学校とも異なる点があり，教員は教育，研究，学校運営，学生の生活指導等，多様な業務を要求されます。以下では奈良高専の教員（一般教科）の教科指導以外の職務について，主な職務の概要を記します。

① 校務分掌

学級担任としては一学級 40 人程度の学生への支援を行います。また，各種の委員会委員として学校運営に参加します。すべての教員は何らかの委員会に属しています。

② 研究

研究成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されます。個室の研究室があり研究費の予算立てもあります。一方，業績に関し数年に一度は必ず外部評価が実施されます。

③ クラブ顧問

すべての教員がクラブ顧問として課外活動指導を行い，校外競技参加時の引率も行います。

④ 学生寮の宿直

原則，全教員が交代で学生寮宿直を行い，指導，巡回・点呼，緊急時の対応等に当たっています。

⑤ その他（数学教員の場合）

本科入試，専攻科入試等，年間に複数回の入試問題作成と採点，進学編入試験への対応をします。

■奈良高専における数学教育について

本校では入学当初から，幅広い工学的知識を身につけ，実践力を備えた技術者を養成するための教育を始めます。そのためには数学の基礎知識を身につけ，数学的思考に慣れ，自主的，継続的に学習していく力を早く身につけることが重要です。

本校の 1 年次は数学の基礎として初等関数，図形と方程式・不等式，集合と論理，場合の数等を学びます。2 年次には微分積分，線形代数の基礎を学びます。ここまででおよそ高等学校の履修内容を終えます。3 年次には授業時間の半分が工学の専門科目となりますので，それに対応できる数学力を付けさせることが必要です。3 年次は大学工学部初年程度の微分積分，線形代数を学び，4 年次は応用数学として，複素関数，フーリエ解析，ラプラス変換，確率・統計を学びます。

このように 4 年間にわたって学生達の学力を継続して高めていくためには，どの学年に対しても授業中の説明を丁寧に行うことはもとより，こまめに課題や小テストを実施したうえで，放課後の指導

も必要です。学生の意欲を引き出すため、数学と専門教科とのつながりも意識しながらの授業や、アクティブラーニングの実践も必要な場合があります。将来的には科学系・工学系との融合科目を担当していただく可能性もあります。また、学生からの工学専門科目に関わる数学的な質問への対応、編入学試験に関わる対応もしていただきます。したがって教員は、自らの専門だけでなく幅広い興味を持っていることが期待されます。

なお、当数学教科では合同オフィスアワーにおける学力補充や、より進んだ勉強をしたい学生向けの勉強会の実施等、補習を必要とする学生から数学好きの学生まで幅広く支援し、学生のニーズに応える体制を作っています。学生に地域の科学イベントや数学コンテストに参加させる等、学外での活動を利用して学生の意欲・興味を引き出すための低学年教育にも力を入れています。

これからの本校の数学教育に他の教員と協力しつつ積極的に取り組んで頂ける方の応募を望んでいます。